

豊田武 漢名 日本社會經濟史學者、文學博士。明治四十三年二月九日  
東京赤坂生れ、昭和十五年三月二十九日歿（九二〇一八〇）。國文學者  
豊田八十代やとよの四男。浦和高等学校を経て、昭和七年東京帝國大學文學  
部國史學科卒。十年文部省宗教局保存課に入り史蹟調査に従事。十六  
年東京女子高等師範學校教授、二十年文部省圖書監修官となり新教科  
書の編輯に當る。二十一年東北大學教授、二十七年一橋大學教授を兼  
任。四十八年法政大學教授。東北史學會會長を務めた。

著書に、『日本宗教制度史の研究』（昭和十三年一月十六日厚生閣）、  
『中世日本商業史研究』（昭和十九年八月二十日、のち増訂中世日本  
商業史の研究）（二十七年一月十五日岩波書店）、『近代の生誕』（編、  
昭和二十五年二月五日大阪・大阪教育圖書株式會社）、『日本の封建  
都市』（昭和二十七年四月十五日岩波書店）『岩波全書』）、『堺（商  
人の進出と都市の自由）』（昭和二十一年四月二十日全文堂）『日本歴  
史新書』）、『苗字の歴史』（昭和四十六年九月二十五日中央公論社  
『中公新書』）等。また、『豊田武著作集・第八巻』別冊として、『豊田  
武博士十年譜及著作目録』（昭和五十八年十一月一日吉川弘文館）があ  
る。『一歴史家の歩み―故豊田武先生追悼集』（昭和五十五年七月六

日豊田武先生古稀記念会）刊。



豊田武博士十年譜及著作目録

豊田武博士十年譜及著作目録